2018年度の支援事業のご紹介

**「自国ファースト」が世界中に広がる中で、難民、とりわけパレスチナ人たちを取り巻く環境が非常に悪化しています。
厳しい状況がしばらく続くと予測される中で、一人でも多くの子どもたちが無事に大きくなるよう、
パレスチナ子どものキャンペーンでは「地に足がついた活動」の継続を目指しています。
皆様のご協力とご支援をお願いいたします。**

1 ガザ地区での障がい者支援を継続します。

- 2014年の戦争により負傷した子どもや民間人、また先天性や事故などによる障がい者の在宅での訪問診療とリハビリを継続します。
- 家族に対する支援と現地での専門家養成を進めます。
- 成長や経年劣化で交換が必要になっている義肢や車椅子などの補助装具を提供します。
- 通所型リハビリ施設を開設し、障がいを持つ人たちが外出する機会を増やします。
- 職業訓練や障がい者スポーツなどの機会を作ります。

＊2021年までの３年計画で、障がい者が社会参加しやすい環境づくりをめざします。

2 保健支援を継続します。

- ガザの乳幼児、特に病児に対する栄養支援を強化します。
- ガザでの乳がんの早期発見と患者支援を継続します。

＊2021年までの3年計画で、厳しい生活状況にある患者と家族を支えます。

3 小学校での理科教育支援

- これまでの教育支援のなかでも特にニーズが高かった理科教育に焦点をあてます。
- 理科教員が自信を持って授業を進められるよう、実験など実践的な研修を行います。
  また教員たちのネットワーク作りによりモチベーションが上がることを目指します。
- 子どもたちが理科に関心を持てるような児童中心型の教育を提案します。
- 貧困地区や過疎地区などで学校設備の支援をします。また保護者やコミュニティなどとの協働を進めます。

＊ガザだけでなくヨルダン川西岸のベツレヘム地区でも活動を開始します。
＊2021年までの3年計画で、子どもたちの学力向上も目指します。

アスマさんのストーリー

ガザ南部で、夫、息子と娘と暮らすアスマさんはとてもアクティブです。

2014年の戦争中、イスラエル軍のロケット弾が家を直撃して、全身に瓦礫や爆弾の破片が刺さりました。全身の火傷、左足膝上の切断、右足膝から下に重い外傷がのこり、右足首にはボルトが入り、合計22回の手術を経験しても、爆弾の破片が多く残っています。

「2016年にリハビリが始まった時には、車いすに座り自力では立てませんでした。右足首も動きませんでした。義足も合わなくて動かすたびに激しく痛み、最初はリハビリチームが来ることもいやでした。でも医療チームは、痛みや不安に耳を傾け、無理のないリハビリをしてくれました。また私が自信をもてるようにと、チーム全員で懸命にサポートしてくれました。次第にリハビリを頑張って取り組もうと思いました。早く回復して、母親の役目を果たしたい気持ちがとても強くなり、リハビリに励んできた結果、今は自力で家の中を歩き回り、料理をしたり、車いすなしでの生活ができるようになっています。」

現在、痛みや傷痕は残るものの、右足の可動域が回復し筋力も強くなり、義足の左足とのバランスも取れるようになって、子どもを抱きあげることができるようになりました。

「以前からお菓子作りを習いたいと思っていました。フェイスブックで職業訓練の製菓コース募集を見つけ、迷わず応募しました。2ヵ月の訓練修了後すぐに起業しました。作ったケーキをフェイスブックに投稿したら反響がとても大きく、近所でも評判になり、いまでは注文がくるようになりました。わずかですが収入もあります。注文を受けると、電気が使える午前3時に起きて作るのでとても大変です。また必要な材料などの値段が高騰しているのが悩ましいです。自分の店を持つことが目標です。現在妊娠中なので休んでいますが、出産後は障がい者バスケのチームにも復帰したいと思います。」

4 パレスチナ難民、シリア難民支援

- レバノンでのパレスチナ人シリア難民、シリア人難民、地元のパレスチナ難民の子どもを支援します。
- 幼稚園で受け入れます。学校に通えない、ついていけない子どものための補習クラスを開設します。
- 給食やリクリエーションプログラム、心理サポートを提供します。
- 子ども歯科、児童精神科での診療を継続します。
- 育児中の母親など女性のためのワークショップを実施し、女性たちが助け合う関係を作ります。
- 特に厳しい環境にいる家族に対する越冬支援（燃料提供など）を継続します。
- シリア国内のUNRWAに対する医療器材の提供、またパレスチナ難民キャンプで心理サポートを行う人たちへの研修などの支援を行います。

5 継続した子ども支援事業

- アトファルナろう学校を支援します。
- ナワール児童館を支援します。
- ネゲブのベドウィンの子どもと女性を支援します。

6 国内事業

- パレスチナ刺繍を日本で紹介・販売し、厳しい生活をする女性や障がい者の支援を継続します。
- パレスチナ問題や難民の状況を理解し、その解決を考えるために、講演会報告会などを開催します。
- パレスチナやアラブ中東世界の文化や伝統、衣食住を紹介するイベント等を開催します。
- 日本の子どもたちが難民問題や平和について考える活動を続けます。